

(別紙7-5) 従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(年 月分) サービス種類 ((介護予防)認知症対応型共同生活介護)
 事業所名称・ユニット名称 ()

利用定員数 名

職種	勤務形態	資格	氏名	シフト 時間帯の区分 ※曜日を入力	第 1 週							第 2 週							第 3 週							第 4 週							4週の 勤務時間計 (a)	週平均 勤務時間 (b)	常勤換算 後の人数 (c)
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
管理者				シフト																										—					
				勤務時間数																										—					
計画作成担当者				シフト																										—					
				勤務時間数																										—					
介護従業者				シフト																										—					
				日中時間帯																															
	夜間及び深夜の時間帯																																		
	シフト																																		
	日中時間帯																																		
	夜間及び深夜の時間帯																																		
	シフト																																		
	日中時間帯																																		
	夜間及び深夜の時間帯																																		
	シフト																																		
	日中時間帯																																		
	夜間及び深夜の時間帯																																		
	シフト																																		
	日中時間帯																																		
	夜間及び深夜の時間帯																																		
	シフト																																		
日中時間帯																																			
夜間及び深夜の時間帯																																			
介護従業者における日中時間帯の勤務時間の計(ア)																																			
常勤換算後の人数(イ=ア÷d)																												—	—						
介護従業者における利用者の夜間及び深夜の時間帯の勤務時間の計																												—	—	—					

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間「就業規則等で定められた1週あたりの勤務時間」:

	時間	／週
	時間	／日 (d)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間「就業規則等で定められた1日あたりの勤務時間」:

日中時間帯 朝の

	:	
	:	

 ~ 夜の

	:	
	:	

 まで

夜間及び深夜の時間帯 夜の

	:	
	:	

 ~ 朝の

	:	
	:	

 まで

勤務時間帯	シフト	勤務時間帯	実働時間			
		: ~ :				
		: ~ :				
		: ~ :				
		: ~ :				

備考

- ※欄に当該月の曜日を記入してください。
- 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)の4週間分のシフトおよび勤務すべき時間数(休憩時間除く。)を記載してください。
 なお、介護従事者については、日中時間帯とそれ以外の夜間及び深夜の時間帯を区分して記入してください。

(記載例)

介護従業者	A	ヘルパー1級	和歌山B子	シフト	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	160	40			
				日中時間帯	8	8	8	4	4		8	8	8	4	4		8	8	8	4	4		8	8	8			4	4	
				夜間及び深夜の時間帯				3	5						3	5				3	5							3	5	

(例:夜勤者の勤務時間帯は17時~10時、日中時間帯を6時~21時とした場合。)

日中時間帯	夜間及び深夜の時間帯	日中時間帯
17~21時	21~6時(休憩1H、実働8時間)	6~10時
← 4 →	← 3 → ← 5(休憩除く) →	← 4 →
夜(7)17:00~0:00	明(9)0:00~10:00	

- 職種ごとに右記の勤務形態の区分の順にまとめて記載してください。 **勤務形態の区分 A:常勤で専従 B:常勤で兼務 C:常勤以外で専従 D:常勤以外で兼務**
- 資格欄は、資格が必要な職種のみ記載してください。
- 職員が兼務する場合(例:計画作成担当者と介護従事者)には、それぞれの職種で勤務時間を分けて記入してください。
- 常勤換算後の人数は、週平均の勤務時間を常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間で除すことにより算出(小数点以下第2位を切り捨て)してください。
 * 合計勤務時間(a)・・・各従業者等の合計勤務時間数を記入。
 注:管理者や計画作成担当者が介護従業者と兼務している場合は、それぞれの職種で勤務時間を割り振り、**管理者や計画作成担当者としての勤務時間数は除く**こと。
 * 週平均の勤務時間(b)・・・a÷4
 * 常勤換算後の人数(c)・・・b÷d
 ※ 介護従業者の常勤換算後の人数は、全ての介護従業者の勤務時間の合計から算出して下さい。
- 複数のユニットを持つグループホームについては、事業所名称・ユニット名称欄に「ユニットA」「ユニットB」等付記し、この**勤務体制一覧を各ユニット毎に1枚ずつ作成**してください。
- 従業者の欄が足りないときは、欄を増やして記入してください。(ページを増やすことも可)
- 各事業所において使用している勤務割表等により、職種、勤務形態、氏名及び当該業務の勤務時間等が確認できる場合は、その書類をもって添付書類としても差し支えありません。

(別紙7-5) 従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(平成 24年 4月分)

サービス種類

(介護予防)認知症対応型共同生活介護

事業所名称・ユニット名称

(グループホーム〇〇(ユニット名))

利用定員数 9 名

職種	勤務形態	資格 管理者は常勤である 必要があります。	氏名	シフト 時間帯の区分 ※曜日を入力→	勤務時間表																												4週の 勤務時間計 (a)	週平均 の勤務 時間(b)	常勤換算 後の人数 (c)		
					第 1 週							第 2 週							第 3 週							第 4 週											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28					
管理者	A	介護福祉士 ヘルパー1級	和歌山A子	シフト	日	日	日	日	日	休	休	日	日	日	日	日	休	休	日	日	日	日	日	休	休	日	日	日	日	日	休	休	160	40	—		
計画作成担当者	B	介護支援専門員 介護福祉士	和歌山A男	シフト	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	64	16	当該事業所において計画作成担当者と介護職員を兼務しており、1週の勤務時間の合計が、当該事業所で定められた常勤職員の勤務すべき時間を満たしていれば常勤兼務となります。		
				勤務時間数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
介護従業者	A	ヘルパー1級	和歌山B子	シフト	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	160	40			
				日中時間帯	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—					
				夜間及び深夜の時間帯	—	—	—	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
	A	ヘルパー2級	和歌山C子	シフト	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	160	40			
				日中時間帯	—	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—				
				夜間及び深夜の時間帯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	A	介護福祉士	和歌山B男	シフト	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	160	40			
				日中時間帯	—	—	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—	8	8	8	4	4	—	—			
				夜間及び深夜の時間帯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	B	介護支援専門員 介護福祉士	和歌山A男	シフト	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	96	24			
			日中時間帯	4	—	—	8	—	4	4	—	—	8	—	4	4	—	—	8	—	4	4	—	—	8	—	4	4	—	—	4						
			夜間及び深夜の時間帯	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
C			和歌山D子	シフト	日	夜	明	休	休	早	休	日	夜	明	休	休	早	休	日	夜	明	休	休	早	休	日	夜	明	休	休	早	休	128	32			
			日中時間帯	8	4	4	—	—	8	—	8	4	4	—	—	8	—	8	4	4	—	—	8	—	8	4	4	—	—	8	—	8					
			夜間及び深夜の時間帯	—	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
C			和歌山E子	シフト	夜	明	休	休	日	日	夜	明	休	休	休	日	日	夜	明	休	休	休	日	日	夜	明	休	休	休	日	日	128	32				
			日中時間帯	4	4	—	—	8	8	4	4	—	—	8	8	4	4	—	—	8	8	4	4	—	—	8	8	4	4	—	—	8	8				
			夜間及び深夜の時間帯	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
C			和歌山C男	シフト	休	休	夜	明	休	休	早	休	休	夜	明	休	休	早	休	休	夜	明	休	休	早	休	休	夜	明	休	休	早	96	24			
			日中時間帯	—	—	4	4	—	—	8	—	—	4	4	—	—	8	—	—	4	4	—	—	8	—	—	4	4	—	—	8	—					
			夜間及び深夜の時間帯	—	—	3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
			シフト																																		
			日中時間帯																																		
			夜間及び深夜の時間帯																																		
			シフト																																		
			日中時間帯																																		
			夜間及び深夜の時間帯																																		
介護従業者における日中時間帯の勤務時間の計(7)					24	24	32	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	928	232		
常勤換算後の人数(イ=ア÷d)					3.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	—	—	5.8	
介護従業者における利用者の夜間及び深夜の時間帯の勤務時間の計					8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	—	—	—

管理者は常勤である必要があります。

介護従業者として勤務しているため。

計画作成担当者として勤務しているため。

介護従業者の日中時間帯の勤務時間の合計を入力してください。

介護従業者の夜間及び深夜の時間帯の勤務時間の合計を入力してください。

グループホームについては、日中のサービス提供時間帯に延べ24時間(常勤職員の勤務時間が8時間とした場合8時間×3人)以上のサービス提供が必要です。

当該事業所において計画作成担当者と介護職員を兼務しており、1週の勤務時間の合計が、当該事業所で定められた常勤職員の勤務すべき時間を満たしていれば常勤兼務となります。

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間〔就業規則等で定められた1週あたりの勤務時間〕： _____

40 時間 / 週

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間〔就業規則等で定められた1日あたりの勤務時間〕： _____

8 時間 / 日 (d)

日中時間帯 朝の **6** : **0** ~ 夜の **21** : **0** まで

夜間及び深夜の時間帯 夜の **21** : **0** ~ 朝の **6** : **0** まで

勤務時間帯	シフト	勤務時間帯	実働時間
	日	9 : 30 ~ 18 : 30	8
	遅	12 : 0 ~ 21 : 0	8
	早	7 : 0 ~ 16 : 0	8
	夜	17 : 0 ~ 0 : 0	7

シフト	勤務時間帯	実働時間
明	0 : 0 ~ 10 : 0	9

シフト	勤務時間帯	実働時間

備考

- ※欄に当該月の曜日を記入してください。
- 申請する事業に係る従業者全員(管理者を含む。)の4週間分のシフトおよび勤務すべき時間数(休憩時間除く。)を記載してください。
なお、介護従事者については、日中時間帯とそれ以外の夜間及び深夜の時間帯を区分して記入してください。

(記載例)

介護従業者	A	ヘルパー1級	和歌山B子	シフト														160	40								
				日中時間帯																							
				早	日	遅	夜	明	休	休	早	日	遅	夜	明	休	休										
				8	8	8	4	4				8	8	8	4	4			8	8	8	4	4				
							3	5								3	5									3	5

(例:夜勤者の勤務時間帯は17時~10時、日中時間帯を6時~21時とした場合。)

日中時間帯	夜間及び深夜の時間帯	日中時間帯
17~21時	21~6時(休憩1H、実働8時間)	6~10時
← 4 →	← 3 →	← 5(休憩除く) →
← 4 →		← 4 →
夜(7)17:00~0:00	明(9)0:00~10:00	

3 職種ごとに右記の勤務形態の区分の順にまとめて記載してください。 **勤務形態の区分 A:常勤で専従 B:常勤で兼務 C:常勤以外で専従 D:常勤以外で兼務**

4 資格欄は、資格が必要な職種のみ記載してください。

5 職員が兼務する場合(例:計画作成担当者と介護従事者)には、それぞれの職種で勤務時間を分けて記入してください。

6 常勤換算後の人数は、週平均の勤務時間を常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務時間で除すことにより算出(小数点以下第2位を切り捨て)してください。

* 合計勤務時間(a)…各従業者等の合計勤務時間数を記入。

注:管理者や計画作成担当者が介護従業者と兼務している場合は、それぞれの職種で勤務時間(または曜日)を割り振り、**管理者や計画作成担当者としての勤務時間数は除く**こと。

* 週平均の勤務時間(b)…a÷4

* 常勤換算後の人数(c)…b÷d

※ 介護従業者の常勤換算後の人数は、全ての介護従業者の勤務時間の合計から算出してください。

7 複数のユニットを持つグループホームについては、事業所名称・ユニット名称欄に「ユニットA」「ユニットB」等付記し、この**勤務体制一覧を各ユニット毎に1枚ずつ作成**してください。

8 従業者の欄が足りないときは、欄を増やして記入してください。(ページを増やすことも可)

9 各事業所において使用している勤務割表等により、職種、勤務形態、氏名及び当該業務の勤務時間等が確認できる場合は、その書類をもって添付書類としても差し支えありません。